



まちづくり検討会議 ニュースレター vol.4

令和7年
10月

「手づくりまっりの企画内容の詳細を考えよう！」

本番をイメージしながら

10月8日(水)第三回全体会議では、「**本番をイメージしながら実施内容の詳細を考える**」ということを第一目標に、まずは、これまでの活動内容の振り返り、グループ別会議の内容共有をしました。

そして、前回に引き続き、5つのチームに分かれて、**グループワーク**を実施しました。

ものづくりでは**何をつくる必要があるのか**、**材料や作業道具**は**何が必要なのか**、当日の**役割分担**等について話し合いました。

◆第3回全体会議 概要

日時 2025.10.8(水) 19:00~21:00

会場 春日コミュニティセンター

参加者数 学生 18名(1名オンライン参加)
地域の方 13名

プログラム

- 1 活動内容の振り返り
- 2 グループワーク①(企画の詳細決め)
- 3 グループワーク②(スケジュール決め)
- 4 各チームの発表
- 5 今後の調整

【チラシ系】

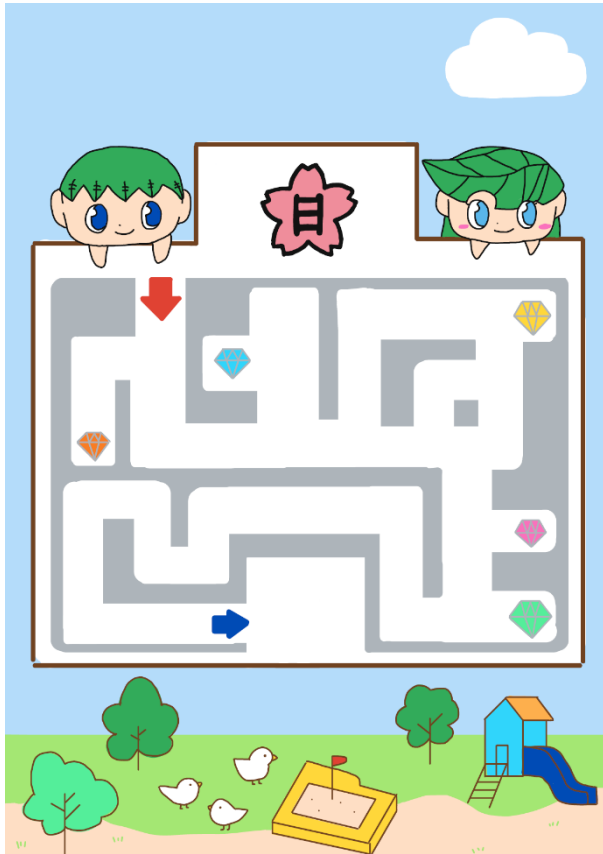


★チラシのデザインが完成しました★

- ・その他チームの有志発表の募集のQRコードを追加
- ・主催と問い合わせ先も追加
- ・チラシの文言を「風船割り」→「風船ゲーム」に変更!
※ゲームチームの内容が変更になったため



【チラシ系】



★シールラリーのデザインについて

・シールラリーは A4 半分に折って A5 サイズで持ち運べるようにする！

→掲載する内容としては、タイトル(表面右)、当日のスケジュール(表面左)、シール台紙(裏面左)、会場マップ(表面右)に掲載する

・4つシールを集めてもらえる景品としては、お菓子のつかみ取りにする予定。

・シールの大きさは、10 センチ(横)×14 センチ(縦)

【シールデザインの変更点】

デザインについては、「スタート、ゴールも文字を入れる」、「ゴールの景品を描く」、「全体の線を太くする」の3点を追記する。

【ゲーム・体験系】

・風船割りゲームは実際に試してみると、風船の割れる音が大きい

→体育館では響くことも考慮し、ゲームを再考

【みんなで考えたゲーム案】

- ・風船ゲーム(風船をペットボトルもしくは手で運ぶゲーム)
- ・風船をふくらませるのが大変！また、ふくらんだ風船の口を縛るのも大変
- 風船はふくらませて準備しておく(風船に絵を描いても楽しい)
- ・個人で挑戦するより、2人1組かチームで挑戦するほうが楽しい
- ・タイムアタックにして、何組かが一斉にスタートすると盛り上がる
- ・スタート後、折り返し地点をつくっておいて、スタート地点に戻ってきてゴール

【これから決めること】

- ・ゲームの名前
- ・手で運ぶのか、ペットボトルなどを使うのか(10月23日に実験して決める)
- ・タイムアタックの申込用紙の素敵なネーミング
- ・当日の役割分担
- ・看板(ポップ)の作成



【学べる系】

（実施内容）

<リアル脱出ゲーム>

テーマ例：災害時1～3日生き残るために

- ・物語作成と問題の構成はできている
 - ・3日間72時間を生き延びる物語。1日目、水を調達、2日目、食料を調達、3日目、情報を調達
 - ・冊子は謎解きだけではなく、サバイバル知識ミニコーナーもあり（ヒントの紙あり）
 - ・景品について参加賞はお菓子（400人分ービスコ）
 - ・特賞は文房具、ハンカチ、パラコード、手ぬぐい、まもるんパン、防災笛が候補（20人分）
- 学べる系 Line オープンチャットで投票を実施。10月18日(土)までに決定予定。
- ・特賞はヒントを使わずクリアした人に決定⇒限定数を決める

★役割分担…200人分作成

・冊子づくり（問題、ルール、準備物）、ヒント冊子づくり、ペットボトルランタンづくり（2個）、参加賞・特賞準備、各スポットの看板づくり、豆知識と豆知識総合問題、2択迷路

<避難所横断〇×ウルトラクイズ（仮称）>

テーマ例：①避難所の運営を知る、②防災や避難の知識を得る

- ・みんなで学べる防災クイズから出題、問題数は1回10問+αくらいで考えている。
- ・最初は簡単で、だんだん難しく。
- ・ライフはなしにする方向で。
- ・最後の1人（3人）を決めるのは、最終的にじゃんけんバトル。
- ・景品は5,000円×3つ。あるいは、1,500円×9つ。
- ・〇×や問題をプロジェクターとスクリーンで投影する。

★役割分担

当日：司会－1～2人、ロープ－2名、会場整理－1～2名

※誰かがパソコンを操作

事前：パワポ作成、司会用原稿



<防災食づくり> 人員：2～3人 ※リアル脱出ゲームの受付と一緒に

- ・日赤茨木の方をお願いします
- ・小河館長に段取りをお願いします
- ・10人×10回15分ずつで合計100名

※早めに決めること

①特賞の投票 ②次回の学べる系の集まる日



【工作系】 実施内容：竹とんぼ

（実施内容）

◆竹とんぼの作成について

- ・ 地域の方に **30 個**を目安にご準備いただくが、作業の手伝いが必要になる可能性あり
- ・ 別途作業日を設けることになる場合は、スケジュール調整

◆牛乳パック、紙コップバージョンについて

- ・ 右図の 2 種類をベースの形とする（見本として設置しておく）
- ・ 羽の形・長さ、ストローの強度などは作成者の自由で OK
- ・ キットは見本通りに作る用とオリジナル用に、見取り図あり・なしパターンを用意



牛乳パック

★作成工程がわかるように、**写真つきの作成手順書**を作成する必要がある
→模造紙などを使用した大サイズと手元で見られる小サイズを準備する

◆作成後の競技について

- ・ 作ったものを **自由に飛ばせるエリア**と**競技用のエリア**に分けて遊んでもらう
- ・ 自由エリアには朝礼台を設置して、高い場所から飛ばせるようにする
- ・ **滞空時間**と**距離**の 2 種類を競技として設定する
- ・ 滞空時間と距離の競争 2 部門を **30 分ごとに時間で区切る**
(例) 13:30～滞空時間、14:00～距離、14:30～滞空時間、15:00～距離
- ・ 個人戦と友達とタッグを組んだ団体戦にしてもいいのではないか



紙コップ

（滞空時間）

平均台を並べてその上にコンパネを設置、その上から並んで一斉に飛ばして競う
タイムを計るのではなく、目視で誰が一番**長い間飛ばせたか**確認

（距離）

白線を引いておいて**どれだけ飛んだか**を競う
前回の作成を踏まえて、細かめの目安線を引いておく
その時点での一番飛んでいるところに目印を置く



◆今後の検討事項

- ・ 竹とんぼ材料に牛乳パックを使用している旨の記載が必要
→洗った牛乳パックでも**アレルギー反応が出る可能性**がある



【その他】 実施内容：有志発表

○応募枠

- ・15分枠で、発表時間は**1人5分**まで
- ・13:30、14:15、15:00の3枠は、学べる班のクイズ発表を行う
- ・応募期間は**11月9日(日)まで**・・・チラシに募集案内を掲載
- ・**10/20(月)**には、小学校にチラシを配布予定
- ・募集フォーム→発表時間の枠が埋まれば、フォームに「○時の枠が埋まりました」と変更する。

○自由枠

- ・お題カードは**10項目**
 - ①特技(似顔絵、けん玉等)
 - ②「ありがとう」を伝えよう
 - ③実は謝りたいこと
 - ④将来の夢(キャッチボールしながら)
 - ⑤縄跳び勝負(チャレンジ)
 - ⑥未成年の主張
 - ⑦春日の好きなところ
 - ⑧秘密、かくしごと
 - ⑨最近できるようになったこと
 - ⑩手づくりまつりに参加した感想
- ・カード→A4画用紙かA3画用紙



○役割分担

- ・受付：2人(シール渡す)、司会：2人、音響：1人
- ・司会は舞台上・・・チャレンジ企画にも参画
- ・受付にお題カードを設置
- ・音響と受付1人は出演者の誘導もする

※マイク2本、スピーカーがほしい ※お題を投影することは可能か



◆モルック

- ・1セット12本+1本を2セット。**2か所で実施**
- ・ペットボトルを1人2、3本持ってきて作成する
- ・ペットボトルに入れる水に絵の具で色を付ける
- ・モルックやってるよ!の宣伝も兼ねて、**モルック着ぐるみ(ダンボールで作成)を作成**
ペットボトル姿、竹姿、木姿
- ・ペットボトルの並べ方は、実際に試してみて決める
- ・受付でカードを引く(点数を高めに設定)・・・カードはA4の半分くらいの大きさ
- ・投げるのは2投。2回目投げた後に投げた人がモルックを戻す。(1投目の時は運営側で)

○役割分担

- ・運営側は4人～5人
- 受付：1人(カードは受付で引く)
- 各モルック場所に1人ずつ(シールを渡す)
- サブ：1人(盛り上げたり・・・)

今後に向けて

次回、11月12日（水）の最終全体会議までに、それぞれのグループでものづくりを行い、当日に向けて準備を進めていきます。

今後のスケジュール（グループ別会議）

【工作系】	10月20日（月）17:00～19:00 @春日コミュニティセンター会議室4
【ゲーム系／その他】	10月23日（木）17:00～19:00 @春日コミュニティセンター会議室4
【学べる系】	10月30日（木）19:00～21:00 @春日コミュニティセンター会議室4
【チラシ】	逐一オープンチャットにて進捗状況を確認する。

参加者の声



立命館大学 森さん

今回の会議ではそれぞれのグループで当日に向けて具体的な内容を決めていきました。より現実味が増ってきて私たち運営側もワクワクしています。当日は地域の方を笑顔にし、楽しく交流できたら嬉しいなと思います。

「老若男女問わず楽しめる手づくりまつり」の実現に向けて、地域の方々と一緒に意見を出し合いました。みなさんの春日地域に貢献したい！という真剣な姿や熱意が自分にも伝わり、当日に向けて私も精一杯頑張りたいと思いました。



追手門学院大学 小園さん



PTA 会長 小西さん

今回の会議で、今まで話し合ったゲーム内容を実際に試してみたところ、想定していなかったことが色々判って、とても興味深かったです。あとは風船を速く膨らませられるよう、当日までに肺を鍛えておきます。

Q.第3回全体会議に参加していかがでしたか？